

－総務省 新ICT利活用サービス創出支援事業－
「研究・教育機関における電子ブック利用拡大のための環境整備」 概要

国立情報学研究所 山地一禎

モチベーション

大学図書館，利用者側のデマンド

- 電子においても紙と同様に，全学的な図書館だけでなく，学部，学科，研究室などの所属レベルに応じた共有を実現させたい
- 大学という組織の枠組みを超えたグループ（研究プロジェクト，研究コミュニティ）での電子ブックの利用を実現させたい



GakuNin を活用したソリューション

- 大学1機関全て対象とするだけではなく，その電子ブックが必要とされている利用者群にアプローチできる手段を実現させたい
- 利用者を識別することで，より沢山の電子ブックが，適正なビジネスモデルで提供できるサービスを実現させたい

出版社側のデマンド

プロジェクト構成

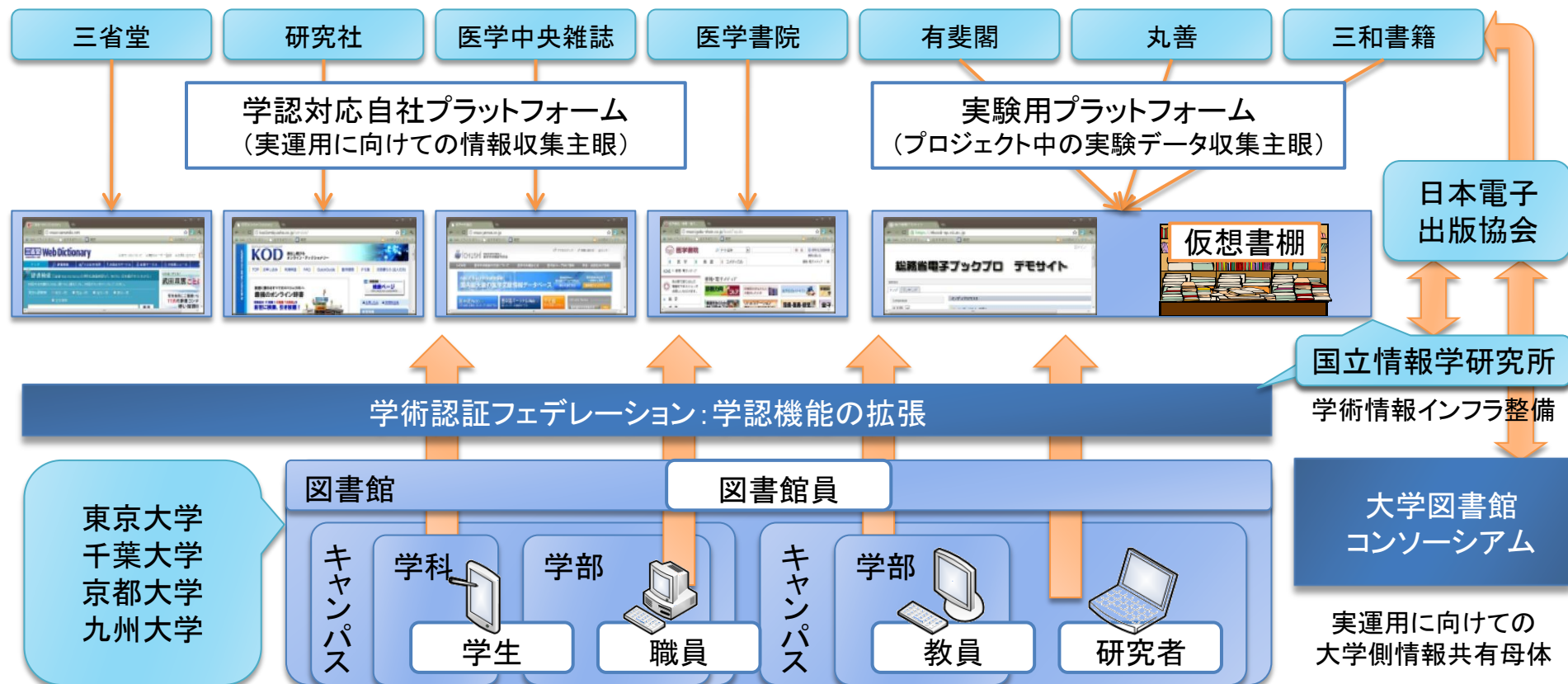
▶ システム開発系

- ▶ 成果目標1: 学認の認証基盤を拡張した仕様に対応したコンテンツ配信プラットフォームの試行運用版を開発し、実証実験の場を提供
- ▶ 成果目標2: 属性プロバイダーと呼ばれる学認における新たなシステムを開発し、利用者の所属情報やグループ情報(ユーザ属性)などを、よりきめ細やかに扱えるフレームワークを実現

▶ 運用モデル開発・実験系

- ▶ 成果目標3: 全国大学図書館に対して電子ブック利用のニーズ調査を行うとともに電子出版事業者の要請分析を実施し、学術電子専門書籍流通システム、サービス、ビジネスを設計・開発
- ▶ 成果目標4: 日本電子出版協会のとりまとめのもと出版社の参加を実現。実験参加者、東京大学、千葉大学、京都大学、九州大学の教職員や学生からなり、図書館を中心として環境整備や意見のとりまとめなどを実施

プロジェクト全体イメージ



実験参加, アンケート調査によるデータ収集

実施体制

代表責任者: 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 機構長 堀田凱樹

成果目標1: 学認に対応したコンテンツ配信PFの認証
ならびに必要な機能仕様の策定

技術開発・システム構築

- 山地一禎(国立情報学研究所), 井上 仁(九州大学)
- 開発補助員(4名)

成果目標2: コンテンツ配信PFにおいて柔軟なアクセス制御を受けるための大学側認証システム

技術開発・システム構築

- 中村素典, 西村 健(国立情報学研究所)
- 開発補助員(2名)

成果目標3: 大学全体／キャンパス／学部などの利用
規模に応じた柔軟な課金モデルの検討

モデル策定

- 曾根原 登, 庄司勇木(国立情報学研究所)

成果目標4: 大学等高等教育機関における電子ブック
の契約・普及促進のための協議体設立

コンソーシアム設立

- 安達淳, 米澤誠(国立情報学研究所)
- 尾城孝一(東京大学), 土屋俊(千葉大学)

成果目標連携サービス実証

- 阿蘇品治夫(国立情報学研究所)
- 三瓶 徹(日本電子出版協会)
- 守屋文葉(東京大学), 野田英明(千葉大学)
- 古賀 崇(京都大学), 片岡 真(九州大学)